

# 平成29年度デイジー教科書の利用申請状況報告

平成30年(2018年) 4月

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

---

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会は、平成20年度からボランティア団体等と協力して小中学校の発達障害など読みの困難がある児童生徒にデイジー教科書の製作・提供を行っています。

- 読み書きに特別な支援を必要とする子どもたち
- 読みの困難さとは
- デイジーで期待される効果
- デイジー教科書の利用申請状況
- 教育委員会による申請の状況
- 利用申請、アンケート結果
- まとめ

DAISY(Digital Accessible Information System)

# 特別支援教育の対象の概念図（義務教育段階）

（平成28年5月1日現在）

義務教育段階の全児童生徒数 999万人

減少傾向

## 特別支援学校

視覚障害 知的障害 病弱・身体虚弱  
聴覚障害 肢体不自由

H17年比で1.3倍

0.71%  
（約7万1千人）

## 小学校・中学校

### 特別支援学級

視覚障害 肢体不自由 自閉症・情緒障害  
聴覚障害 病弱・身体虚弱  
知的障害 言語障害

H17年比で2.3倍

2.18%  
（約21万8千人）

（特別支援学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に該当する者：約1万8千人） ※平成27年5月1日現在

### 通常の学級

#### 通級による指導

視覚障害 肢体不自由 自閉症  
聴覚障害 病弱・身体虚弱 学習障害（LD）  
言語障害 情緒障害 注意欠陥多動性障害（ADHD）

H17年比で2.3倍

0.98%  
（約9万8千人）

3.88%  
（約38万7千人）

増加傾向

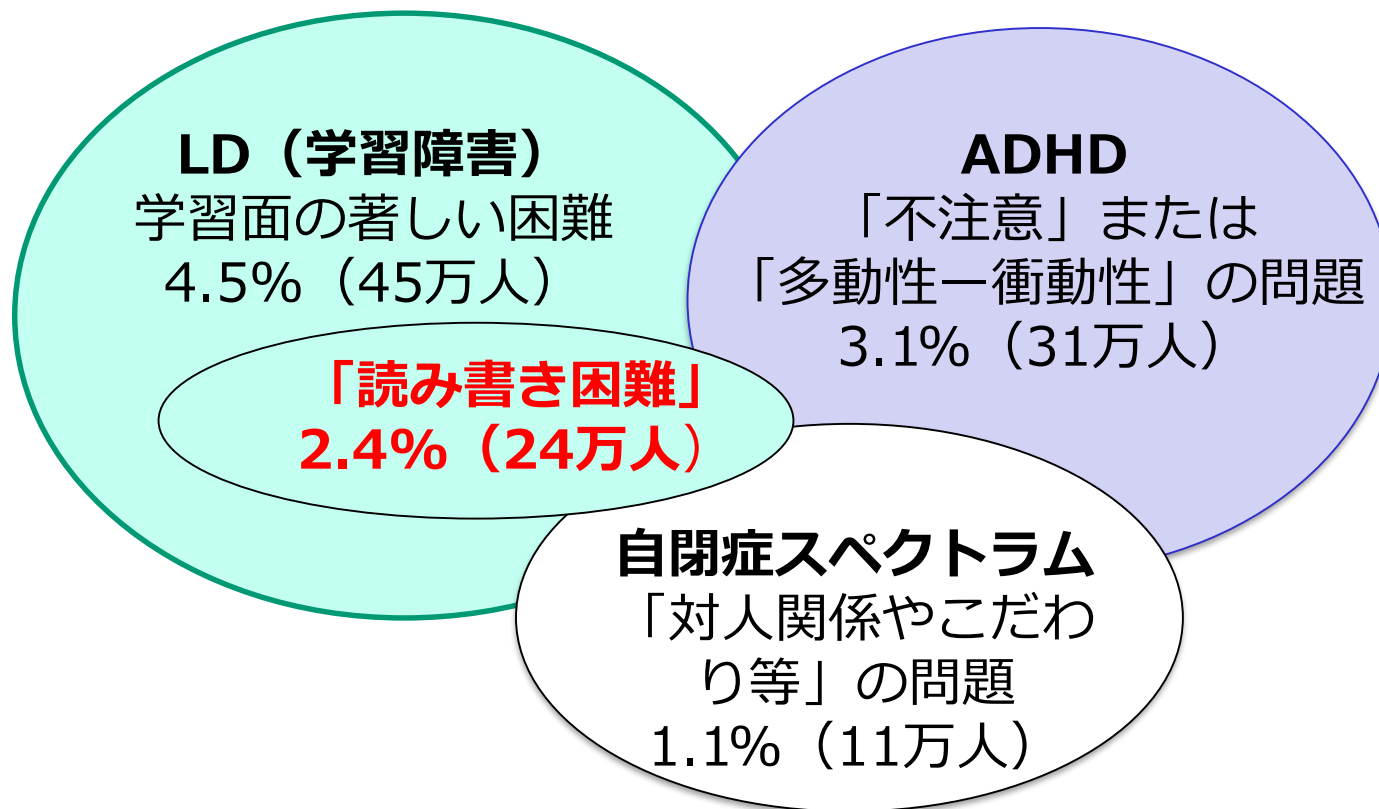
発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）の可能性のある児童生徒：6.5%程度\*の在籍率

※この数値は、平成24年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものでない。

（通常の学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に該当する者：約2,100人（うち通級：約250人）） ※平成27年5月1日現在

# 特別な支援を必要とする子どもたち

発達障害の可能性のある児童生徒数  
全国小中学校の通常学級在籍の約6.5%=65万人



平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

## 文字がにじむ

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？  
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

## 文字がゆらぐ

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？  
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

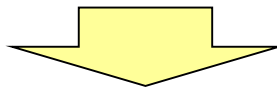
## 鏡文字になる

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？  
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

## 文字がかすむ

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？  
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

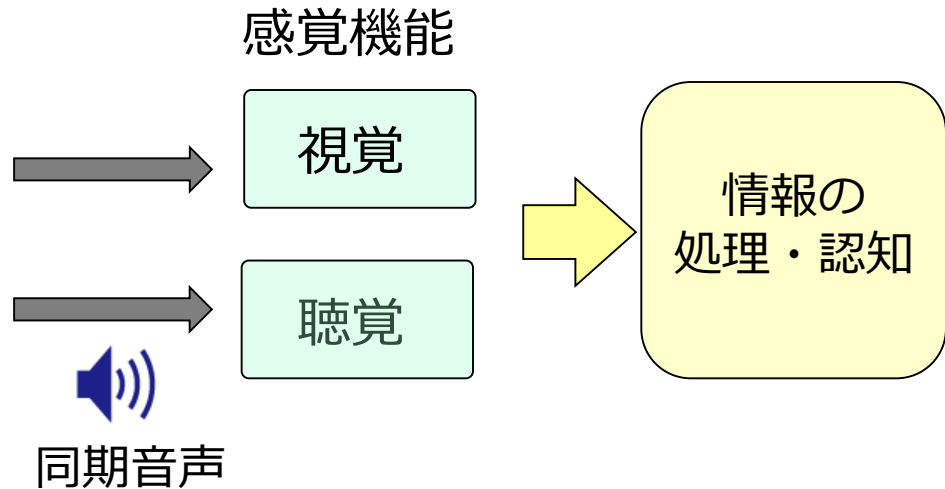
さらに見え方の問題だけでなく、「記号」である文字を「音」として認識することが困難だったり、名称を想起する速度が遅いことによって起こると言われています。



- 逐次読みになってしまう
- 勝手読みをしてしまう
- 単語の切れ目が判らない
- 漢字や熟語が読めない

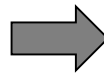


兵十がいなくなると、ごんは、**びよいと草の中からとび出して、びくのそばへかけつけました。**ちよいと、いたずらがしたくなかったのです。ごんはびくの中の魚をつかみ出しては、はりきり網のかかっているところより下手しやての川の中を目掛けて、ほんほんなげこみました。どの魚も、「とほん」と音を立てながら、にじった水の中へもぐりこみました。



## 現状（紙）

読むこと自体に一生懸命で  
内容が入ってこない



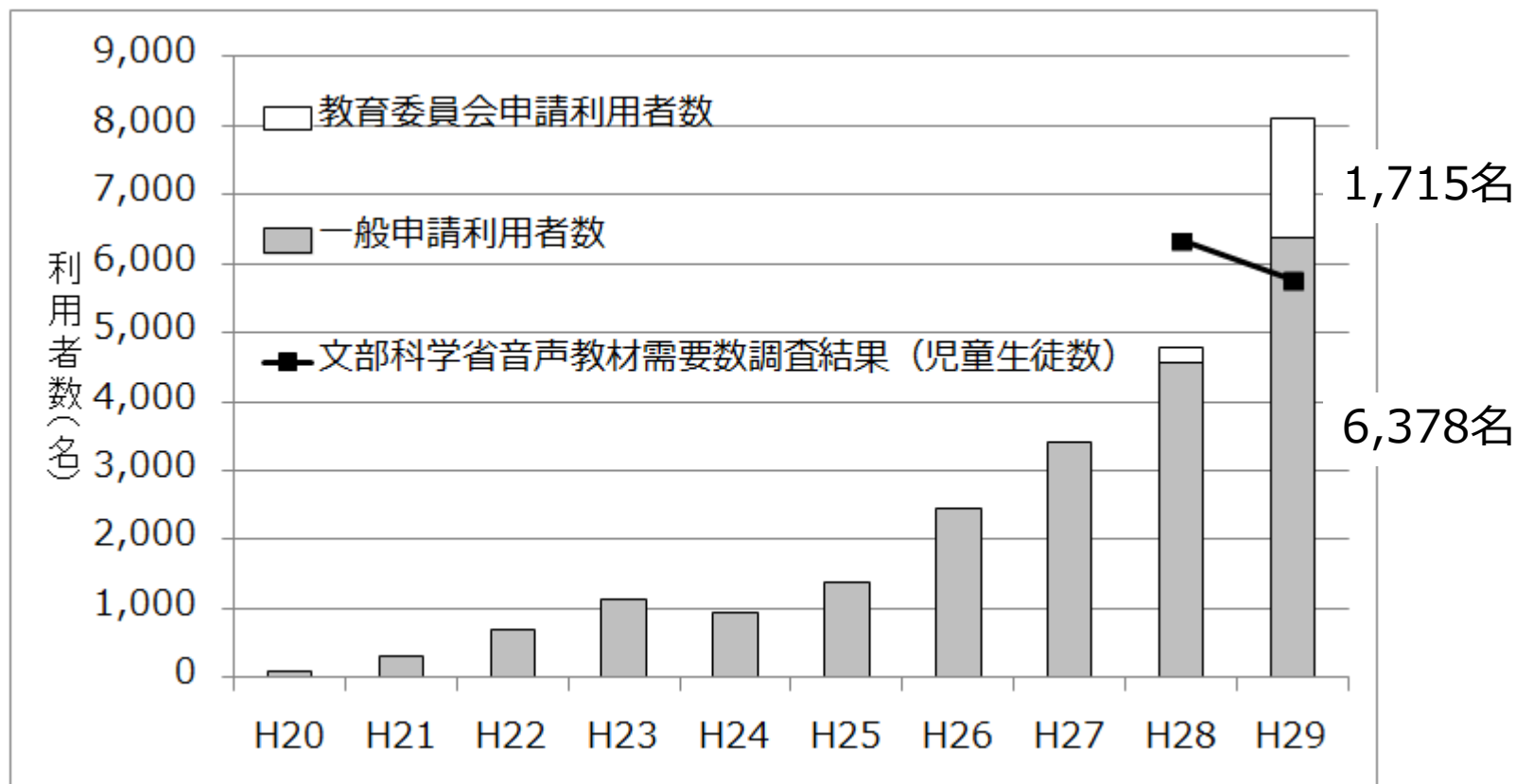
## ICT（タブレット）

読みの負担が減って  
内容の理解に集中できる

- ・ハイライトで場所が分かる
- ・音声で効果的に伝わる

- ハイライトされたテキストと、音声、画像が同時に表示され、どこを読んでいるかが確認できる。
- 目次や見出しをつかって、読みたいページに移動ができる。
- 再生ソフトの機能により、個々のニーズに合った読み方が可能。
  - 文字の大きさ、書体を変更できる。
  - 読むスピードを変更できる。
  - 背景色、文字の色を変更できる。

# デイジー教科書の利用申請状況



平成28年度 4,769名 ➡ 平成29年度 8,093名

DAISY教科書利用率は、必要な子供のうち約**3%**のみ  
(通常の学級の2.4% = 24万人が読みに困難と推計)



平成28年度4団体 → 平成29年度45団体  
199名 → 1,715名

## 教育委員会による加入のメリット

- 教育上のノウハウを共有して、特別支援教育の質向上を図ることができる
- 個別に申請する場合に比較して、教員の事務的負担が軽くなる。また、ICT環境の管理方法・整備計画と併せて検討していくことで、トラブルを未然に防止し、全体的な効率向上を図ることができる

## 再生に使用するソフトがインストールできない

- Windows : 管理者権限がないとインストールできない
- iPad : Appストア利用禁止。アプリは集中管理  
→教育委員会に依頼→専門家がインストール

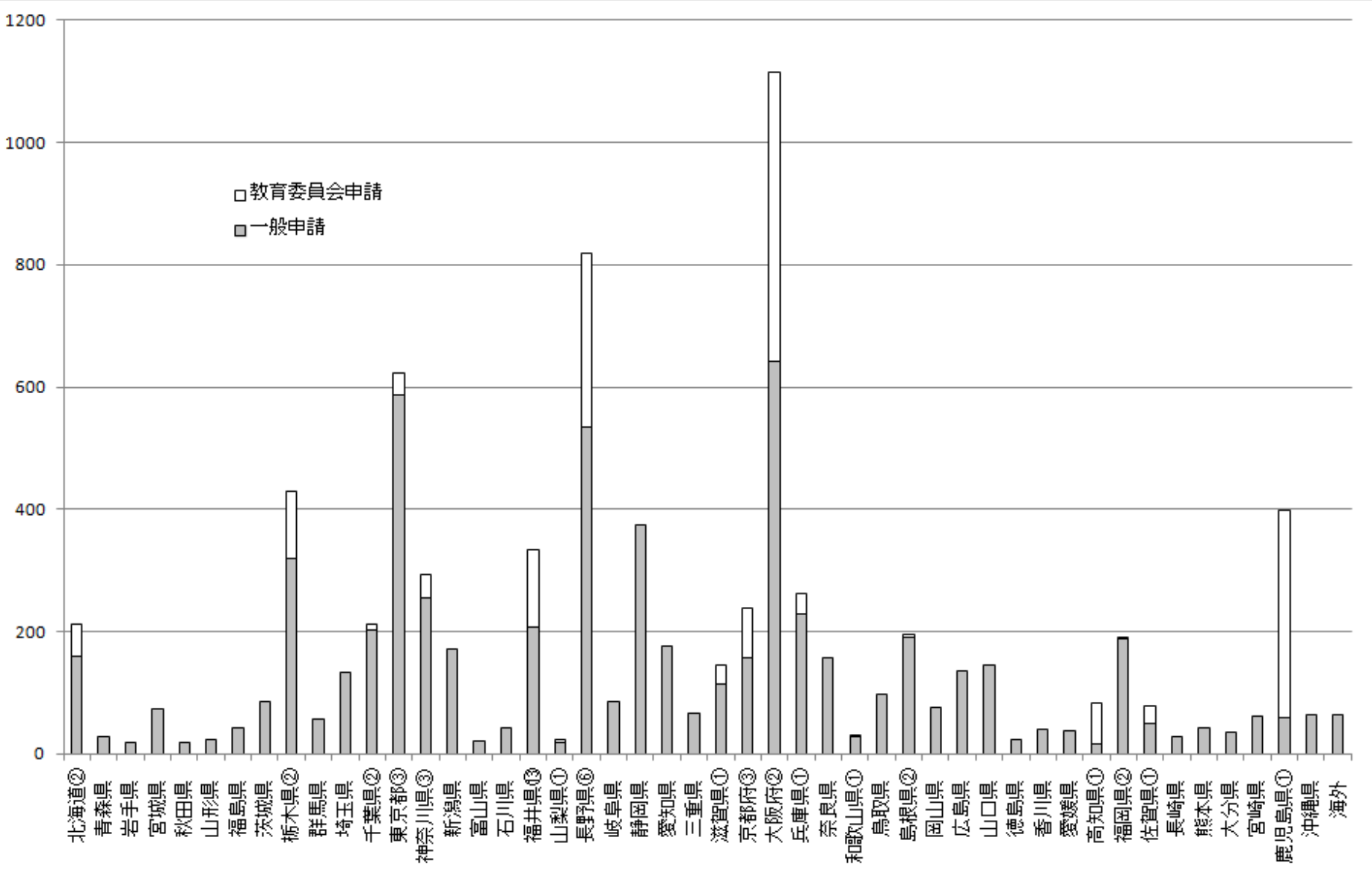
## 教科書データがダウンロードできない

- ホワイトリスト管理だと、デイジー教科書提供サーバーを登録しないとアクセスできない  
→教育委員会に依頼→専門家がホワイトリストに登録

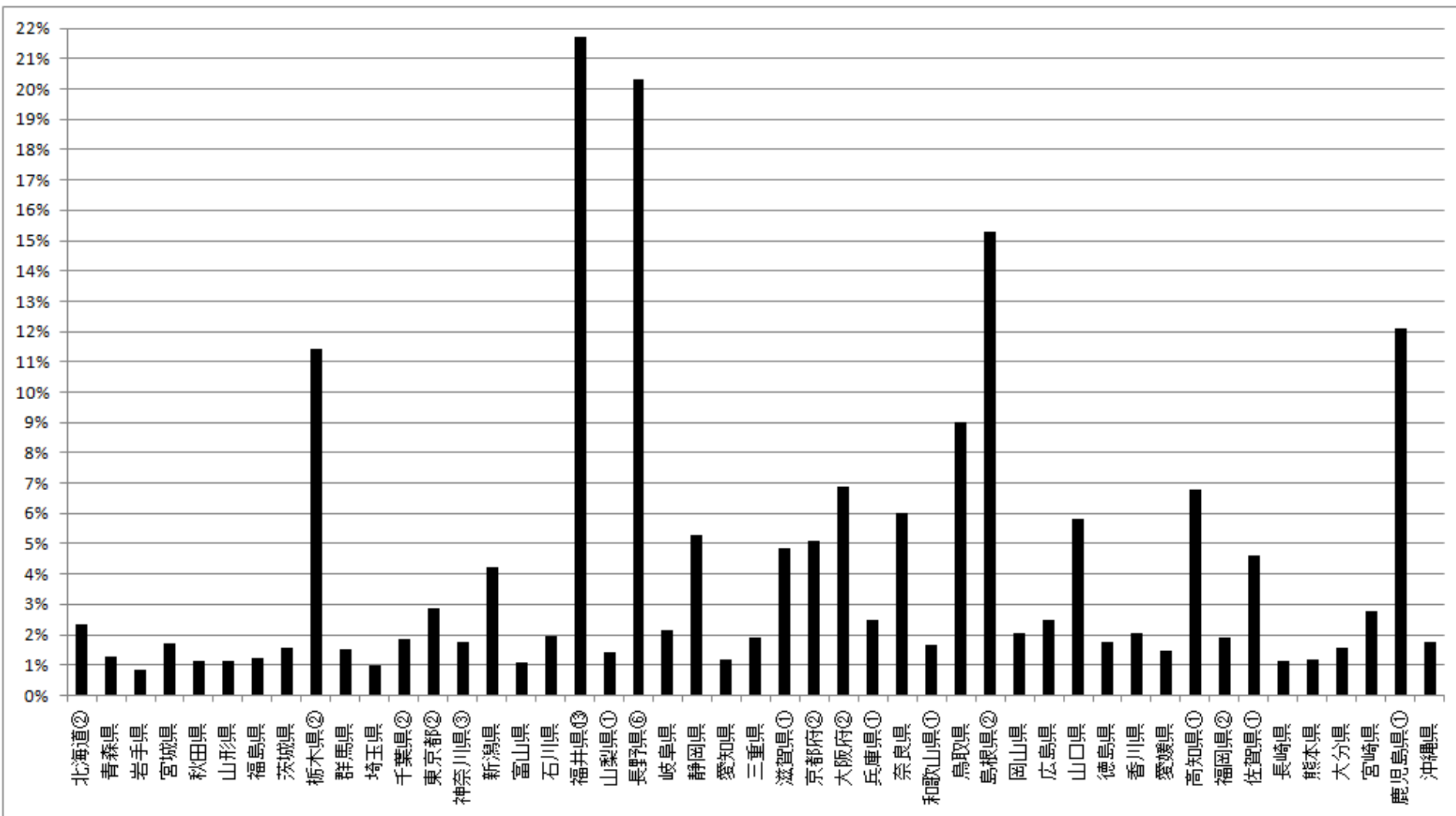
## ダウンロードした教科書データが消えてしまう

- Windowsを再起動すると、リセットされてしまう  
→教育委員会に依頼→専門家が消す対象から外す

# 平成29年度 都道府県別利用者数

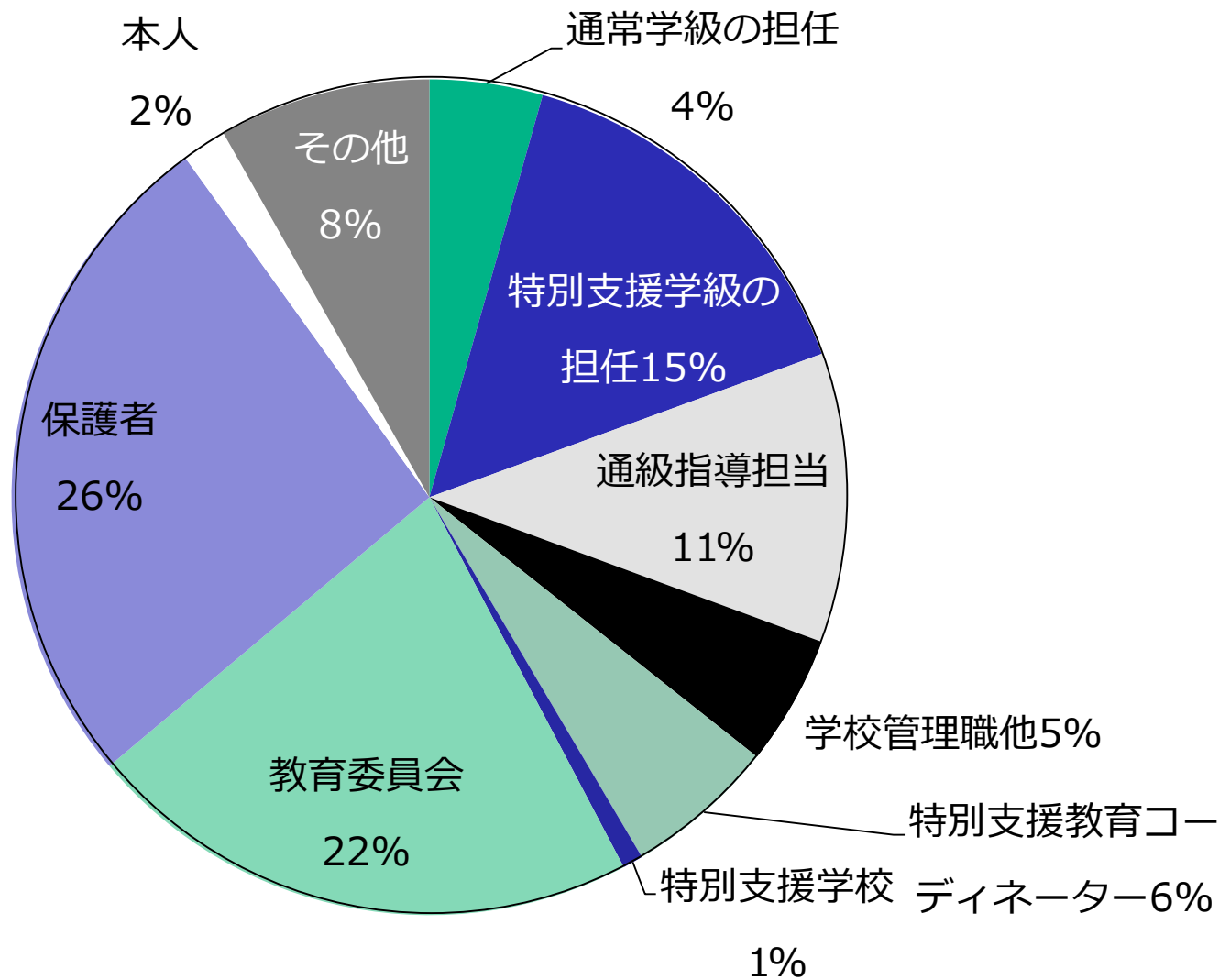


# 平成29年度 都道府県別普及率

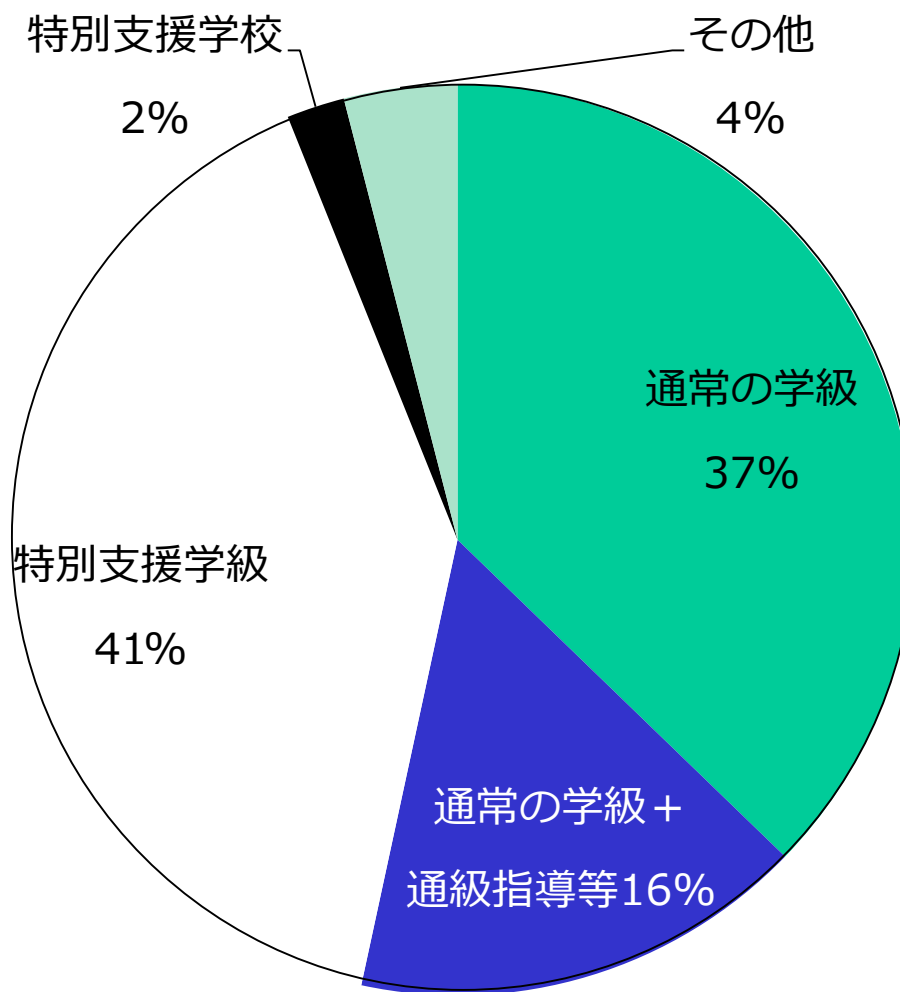


普及率 = 分子 : デイジー教科書利用者数、分母 : 児童生徒の総数 × 2.4%

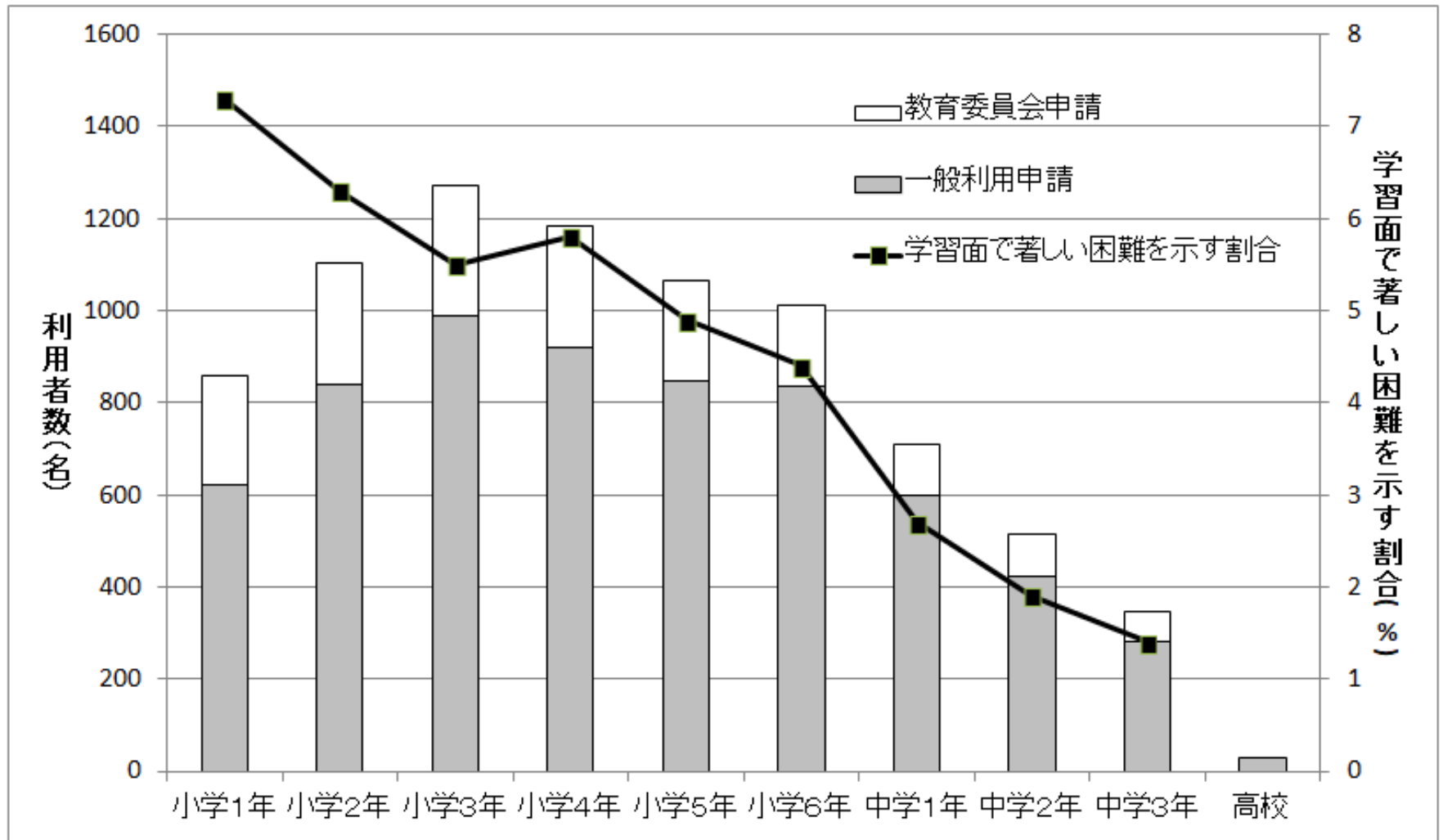
# 平成29年度申請者内訳（8,093名）



# 平成29年度利用者所属学級内訳（8,093名）



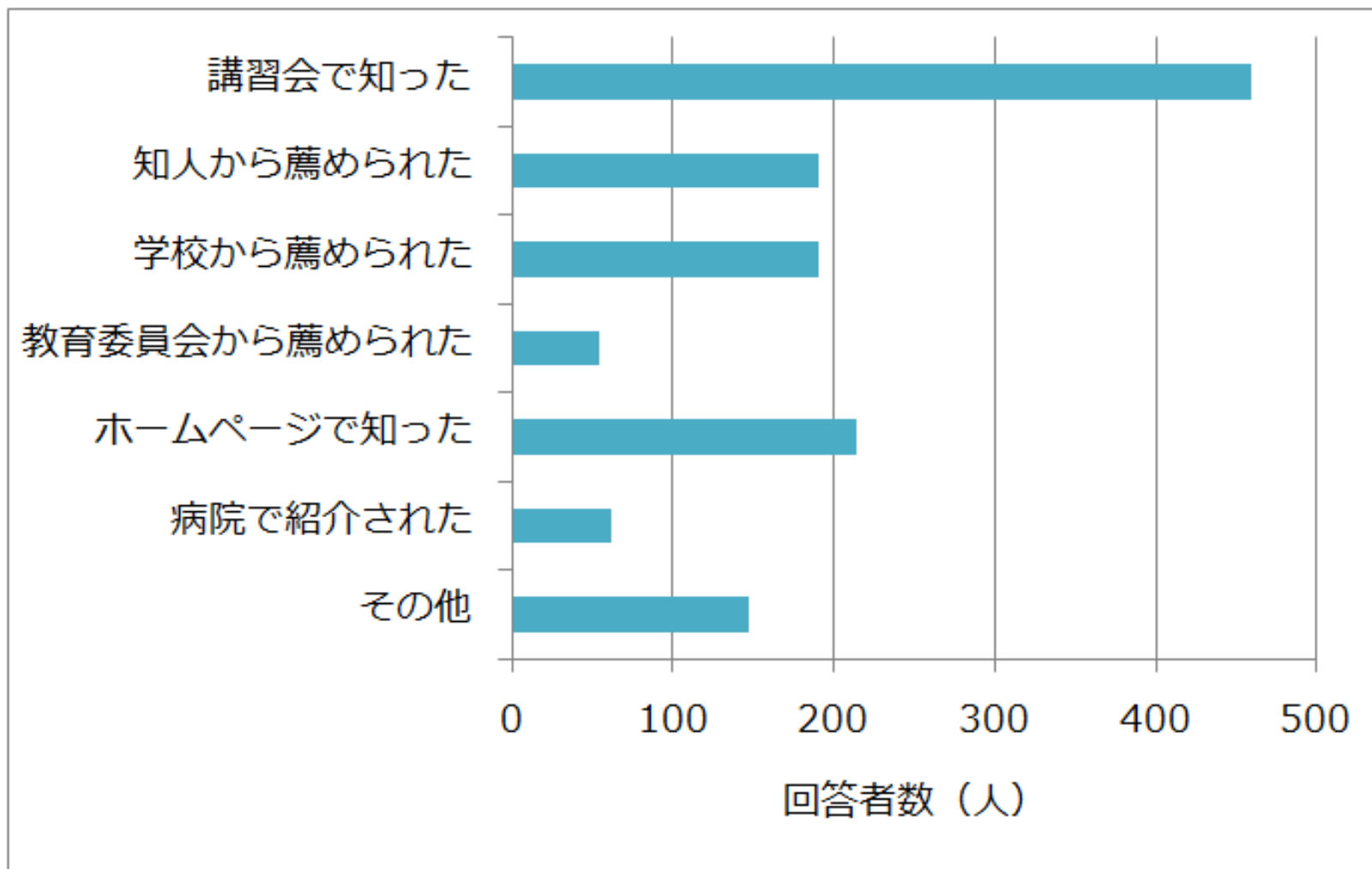
# 平成29年度利用者学年内訳



折れ線グラフは、平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」より学習面で著しい困難を示す割合を参考に提示

# デージー教科書をどこで知りましたか

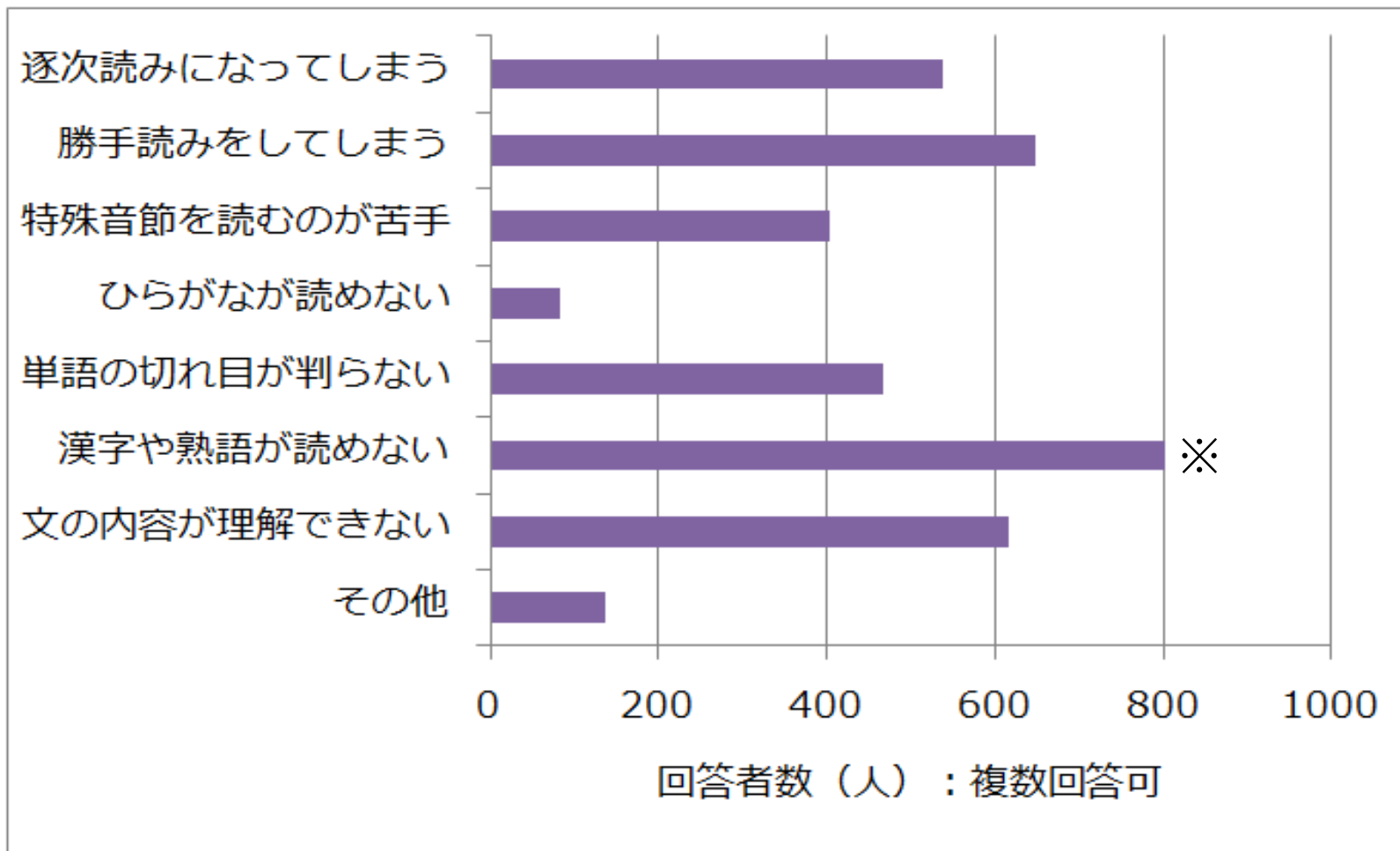
平成29年12月利用者アンケート結果より（1,317名 回収率23%）





# どんなところに困っていますか

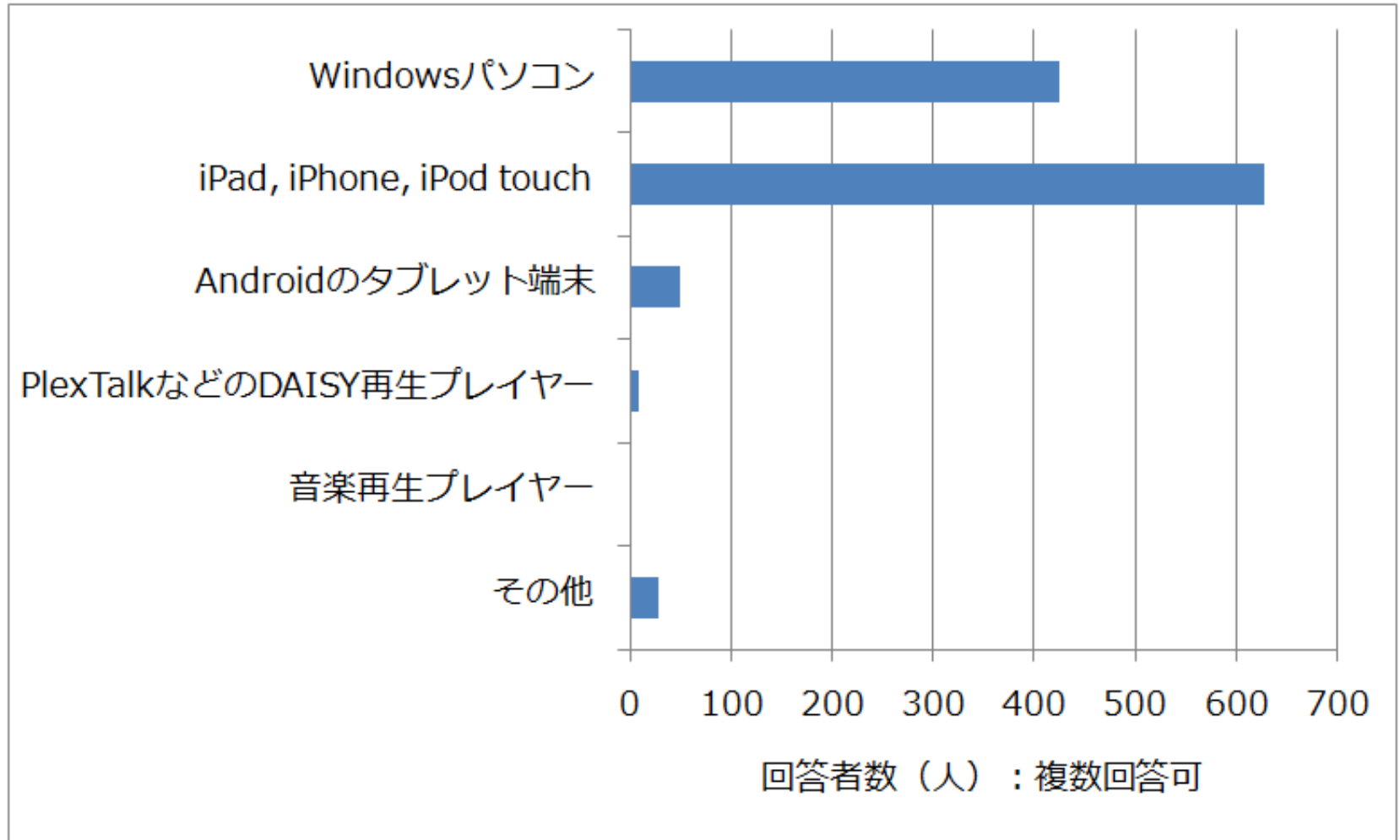
## 平成29年12月利用者アンケート結果より



※全部の漢字への読み (ルビ) の要望率 **60%**

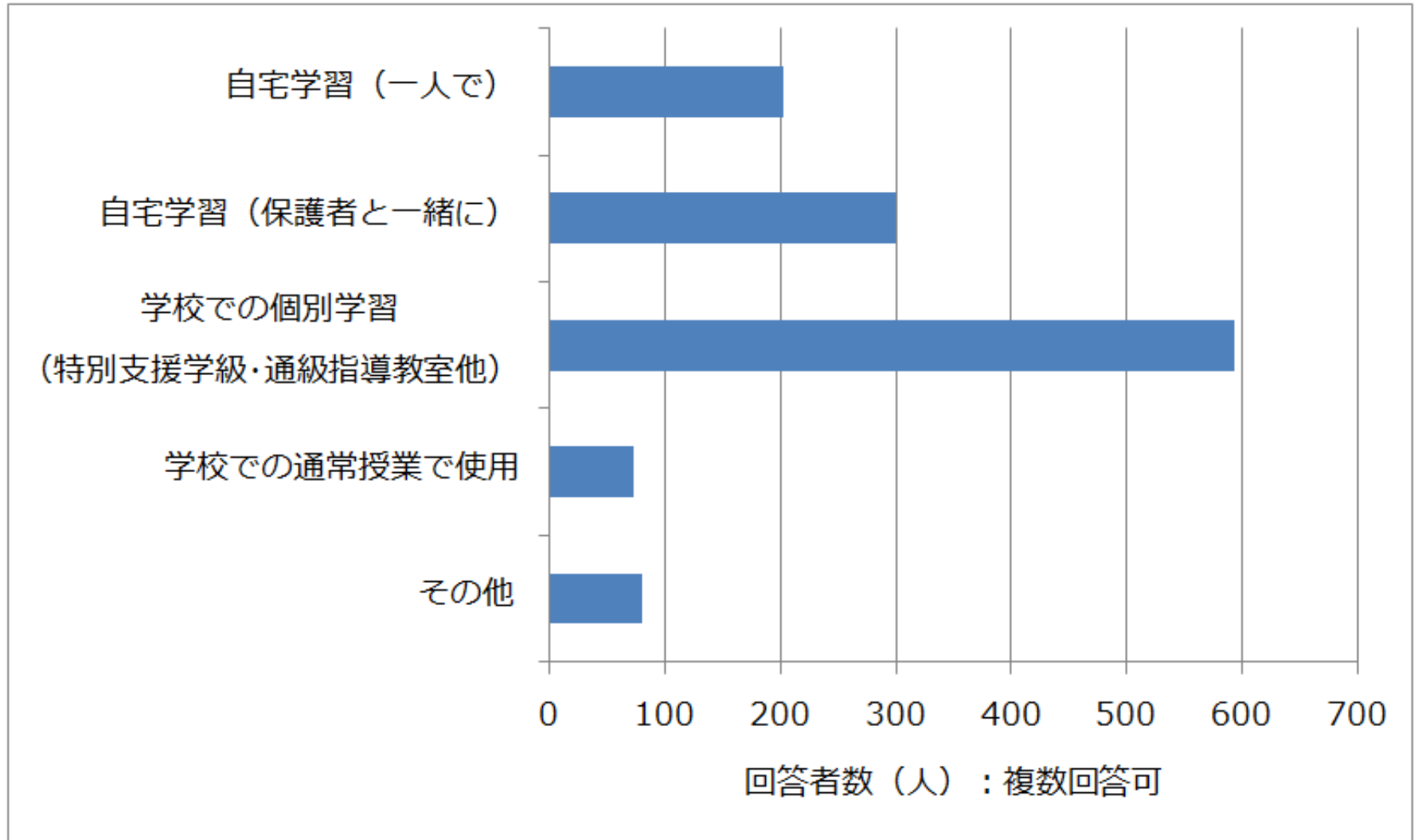
# 再生に使用している機材

## 平成29年12月利用者アンケート結果より



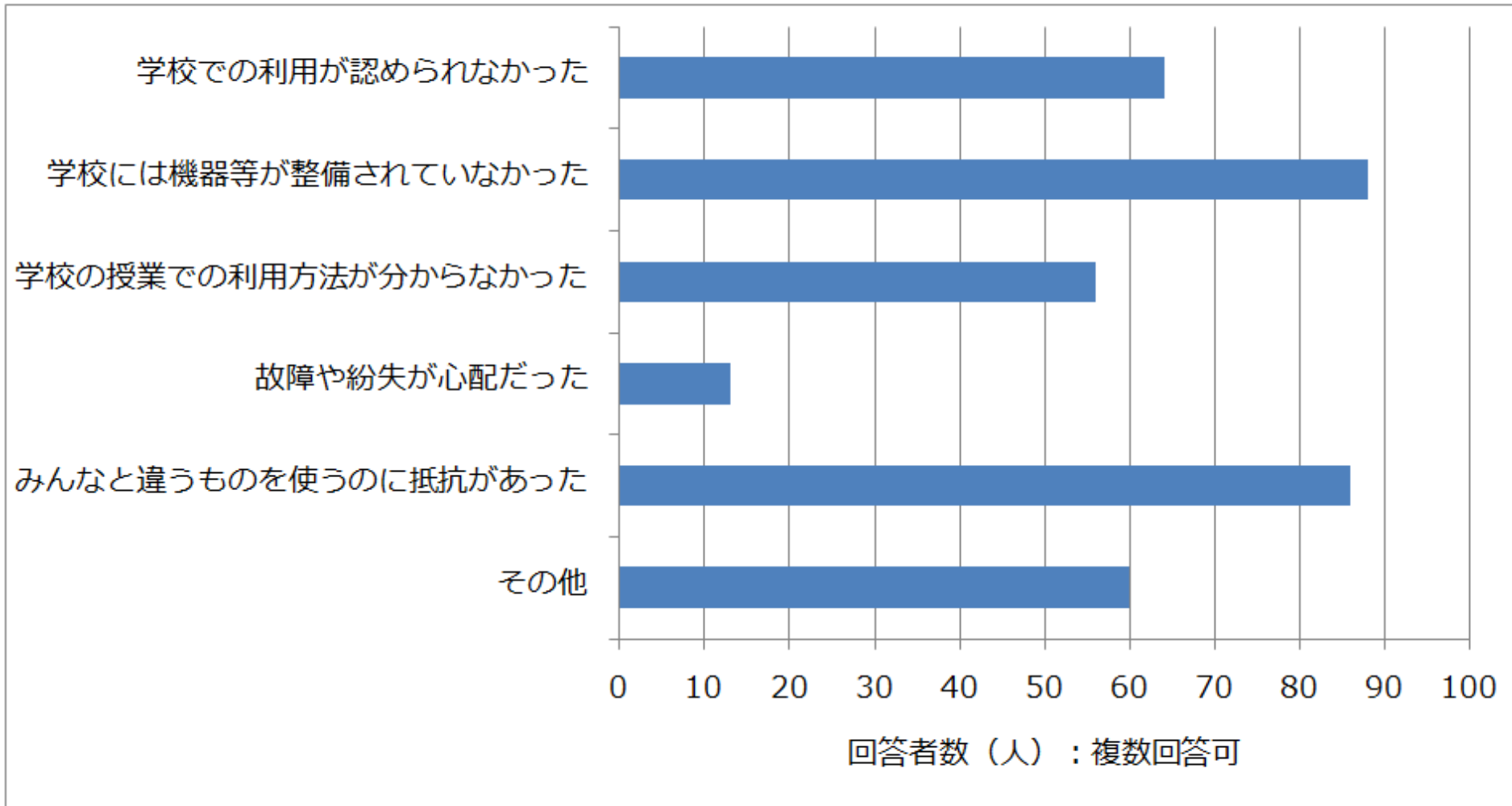
# デージー教科書の利用している機会

## 平成29年12月利用者アンケート結果より



# 利用している機会ですchoolで使わない理由

## 平成29年12月利用者アンケート結果より



## 平成29年12月利用者アンケート結果より

- 読みがスムーズになった
- 文節の区切りが上手になった
- 読み間違いが少なくなった
- 読むことへの抵抗感が減った
- 文章への理解度が良くなった
- 読める漢字が増えた
- 自己肯定感や自尊感情が増した

- 平成29年度の利用者数は8,093名で、前年比1.7倍でと急増しているが、読みの困難を持つ児童生徒に対する普及率では3%程度で極めて限定的
- 都道府県別の普及率では、10%を越えているところと、1%程度に留まるところとの差が大きい。
- 教育委員会による団体加入が進んでいる都道府県は、普及率が高い傾向にある。
- 周知活動を強化していく必要がある。